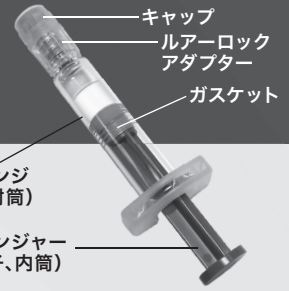


バクニューバンス® 水性懸濁注シリンジの使用方法



18歳以上は筋肉内注射のみ

※接種対象者及び効能又は効果により接種経路が異なるので、電子添文及び裏面をご確認ください。

バクニューバンス®
水性懸濁注シリンジ
沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン
(無毒性変異ジフテリア毒素結合体)

シリンジ
(注射筒)

プランジャー
(押子、内筒)

1 冷蔵庫から取り出し常温になってから速やかに使用します。

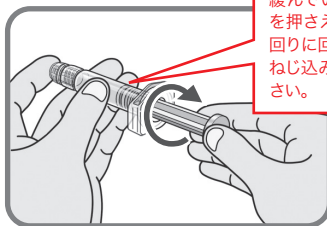
- 誤って凍結させたものは品質が変化しているおそれがあるので使用しないでください。
- ワクチン名、製造番号、最終有効年月日を確認してください。
- 最終有効年月日が過ぎたものは使用しないでください。

2 予防接種の注射針を用意します。

- 注射針は添付されていません。
- 被接種者の年齢や体型を考慮し、適切な注射針を選んでください。

3 包装箱からシリンジを取り出し、プランジャー(押子、内筒)が緩んでいないか確認します。

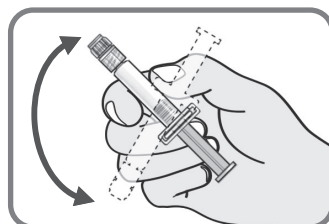
- プランジャーとガスケットの接合は、ねじ込み式のため、取り扱い時に接続が緩むおそれがあります。
- 緩んでいる場合には、キャップを押さえ、プランジャーを時計回りに回転させてガスケットにねじ込み、しっかり固定してください。
- 緩んでいる場合でも、しっかり固定することにより安全にご使用いただけます。



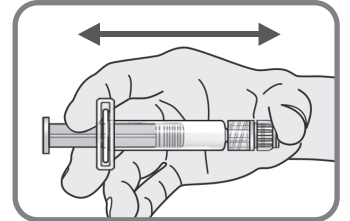
緩んでいる場合には、キャップを押さえ、プランジャーを時計回りに回転させてガスケットにねじ込み、しっかり固定してください。

4 使用前によく振り混ぜて均一にします。異常がないかを確認して使用してください。

- 成分が凝集していることがありますので、上下に反転し、よく振り混ぜてください。

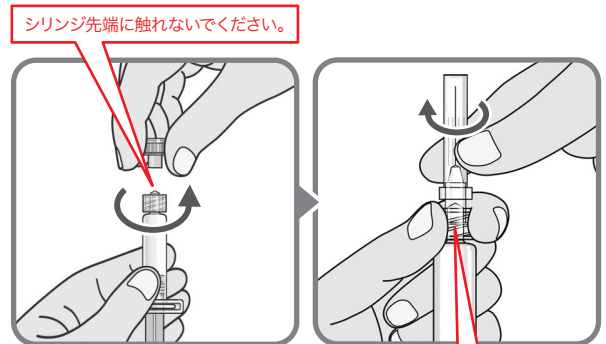


- 本剤を水平に保持し、素早く5~10秒間よく振り混ぜてください。
- 乳白色の均質な懸濁液になっていない場合、水平に振り混ぜることを繰り返して行ってください。
- 懸濁後は速やかに使用してください。
- 粒子状物質や変色が認められた場合には、使用しないでください。



5 シリンジのキャップを外し、用意した注射針を時計回りにねじ込み、しっかり固定します。

- シリンジ本体を持って、先端部にあるキャップを時計と反対回りにねじって外します。その際、シリンジ先端に触れないでください。
 - 次に、ルアーロックアダプターをしっかり保持したまま、注射針を時計回りに回転させてねじ込み、しっかり固定してください。
- ※ルアーロックアダプターを保持せず注射針を回転させた場合、ルアーロックアダプターが注射針と共に回転し、しっかり固定できないおそれがあります。
- ※注射針の取り付けが強すぎたり、弱すぎると、針基が割れたり、シリンジ先端と針基に隙間が生じて液漏れを引き起こすおそれがあります。



シリンジ先端に触れないでください。

注射針は、ルアーロックアダプターを保持しながら固定してください。

6 注射針キャップを外し、全量を注射します。

- シリンジ内の気泡を除去する場合には、注射液を減じないように注意してください。

※接種対象者及び効能又は効果により接種経路が異なるので、電子添文及び裏面をご確認ください。

7 使い終わったら、医療廃棄物として適切に廃棄します。

- シリンジ及び注射針は、医療廃棄物扱いです。

振り方は、こちらの動画をご覧ください。

<https://www.msconnect.jp/videos/vaxneuvance-usage-video/>



接種対象者及び効能又は効果により 接種経路が異なるので、 電子添文及び下記をご確認ください。

効能又は効果

効能又は効果

- 高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者^{※1}における肺炎球菌(血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F、22F、23F及び33F)による感染症の予防
- 小児における肺炎球菌(血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F、22F、23F及び33F)による侵襲性感染症の予防

※1：慢性的な心疾患、肺疾患、肝疾患又は腎疾患、糖尿病、基礎疾患若しくは治療により免疫不全状態である又はその状態が疑われる者、先天的又は後天的無脾症、鎌状赤血球症又はその他の異常ヘモグロビン症、人工内耳の装用、慢性髄液漏等の解剖学的要因により生体防御能が低下した者、上記以外で医師が本剤の接種を必要と認めた者

用法及び用量

〈高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の者における肺炎球菌による感染症の予防〉

1回0.5mLを筋肉内に注射する。

〈肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる18歳未満の者における肺炎球菌による感染症の予防〉

1回0.5mLを皮下又は筋肉内に注射する。

〈小児における肺炎球菌による侵襲性感染症の予防〉

・初回免疫：通常、1回0.5mLずつを3回、いずれも27日間以上の間隔で皮下又は筋肉内に注射する。

・追加免疫：通常、1回0.5mLを1回、皮下又は筋肉内に注射する。ただし、3回目接種から60日間以上の間隔をおく。

バクニューバンス[®]水性懸濁注シリンジ電子添文2023年6月改訂(第3版)

肺炎球菌ワクチン 接種の手引き

下記のURLからダウンロードできますので、ご活用ください。

<https://www.msdcconnect.jp/products/vaxneuvance/materials/support-brochure/>



電子添文はこちらからご参照下さい。



文献請求先及び問い合わせ先

MSDカスタマーサポートセンター

医療関係者の方(MSD製品全般) 0120-024-961

(ワクチン専用) 0120-024-797

受付時間：9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)



製造販売元[資料請求先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア

Tel.(03)6272-1001 Fax.(03)6272-9136

<https://www.msdc.co.jp/>

2023年6月作成

VNV23PH0505